



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

2013年度 通常総会

1. 2012年度事業報告	1
2. 2012年度決算報告	10
3. 2013年度事業計画(案)	15
4. 2013年度予算(案)	19
5. 会費制度の一部変更について	21
6. 理事改選について	22

日時：2013年6月2日(日) 15時～

場所：浦和スポーツクラブ・クラブハウス

1. 2012 年度事業報告：採決事項①

月	会議等	事業・プログラム関連
4	22 第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 3月分 1064,400 円 6 文科省「地域スポーツとトップスポーツの好循環プロジェクト」採択 28 ニュース vol. 135 発行
5	12 元気アップネットワーク会議 30 さいたま市地域 SC 推進委員会出席	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 4月分 96,100 円 ■ 川下氏退職 20 きた!Urawa フェスタ開催 28 ニュース vol. 136 発行
6	02 第2回理事会 10 2012 年度総会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 5月分 121,260 円 28 ニュース vol. 137 発行
7	14 第3回理事会 元気アップネットワーク会議 22 キッズテニス実行委員会 25 市多目的広場管理運営協議会出席	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 6月分 112,750 円 28 ニュース vol. 138 発行 29・30 クラブパレット視察
8		<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 7月分 99,200 円 ■ 中上氏退職 23~24 工作教室 21・24・27 逆上がり教室 28 ニュース vol. 139 発行
9	15 第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 8月分 107,400 円 ■ 相談役 川本氏ご逝去 28 ニュース vol. 140 発行
10	27 元気アップネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 9月分 87,000 円 13 フォルダ司東氏を講師とした地域スポーツ勉強会 28 ニュース vol. 141 発行
11	10 第5回理事会 11 キッズテニス実行委員会 18 キッズテニス実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 10月分 111,500 円 23 第6回キッズテニス大会 28 ニュース vol. 142 発行 ■キッズテニス全国大会で中尾小6女子・小1男子入賞 浦スポ出身6年男子茂木君がマナーキッズ大使に選ばれる
12	9 キッズテニス実行委員会 21 文科省事業報告公開セミナー出席 23 駒場 J V 会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 11月分 108,500 円 ■ヨネックス助成金申請書提出 23 U15・U18 保護者会 28 市長宛に(財)体育協会会長との連名で要望書を提出 ニュース vol. 143 発行
1	12 第6回理事会 20 テニス部門運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 12月分 112,300 円 17~シニア運動教室 8回コース開始 21~シニア運動教室 8回コース開始 28 ニュース vol. 144 発行
2	09 駒場 J V 会議 19 元気アップネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 1月分 104,500 円 9・10 廿日市スポーツクラブ視察・交流 24 ふあいぶるクラブ テニス交流大会参加 28 ニュース vol. 145 発行

月	会議等	事業・プログラム関連
3	02 第7回理事会 20 駒場JV会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援2月分 93,100円 10 親子キャッチボール教室開催 20 浦スポ主催 テニス交流大会 28 ニュース vol. 146 発行
4	07 元気ネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援3月分 93,400円 ■ 小川氏 事務局長就任 28 ニュース vol. 147 発行
5	12 第1回理事会 30 市総合型地域SC推進委員会出席	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援4月分 94,400円 28 ニュース vol. 148 発行

(総論)

2012年度は、次のような特徴的なできごとがありました。

- 文科省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業
- きた！Urawaフェスタ2012の開催
- 元気アップネットワーク会議の開催
- 他クラブとの交流
- 職員の退職とサッカー部門ユース・選手コースの活動方針の変更

2011年にスポーツ基本法が制定され、2012年3月、国のスポーツ基本計画が公表されました。これにより市民のスポーツをする権利が明確に位置づけられました。

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じた、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない」

このような法や計画の中で、地域のスポーツクラブは、スポーツの普及、誰でもスポーツに親しむ場を確保する機能を発揮する主体として期待されています。

浦和スポーツクラブは、これを行政に与えてもらうのではなく、会員自らの力と知恵で、自分達がスポーツや運動を楽しむ場を確保する活動に、これまでも取り組んできました。その中で、地域住民の健康・体力づくりやスポーツ環境の課題にも目を向けてきました。

これまでは主に子どものスポーツ環境の改善に取り組んできましたが、2012年度は、これに加えて地域の高齢者の健康づくりに関わる機会や、多世代の交流といった課題を考える機会が増えているように思います。このような課題に取り組むことが、クラブ会員を増やし、クラブを支持してくれる人々を増やし、活動場所の確保など、会員の活動の充実につながることを、じょじょに実感してきています。

1. 文部科学省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業

スポーツを普及・定着させ、スポーツを人々にとって身近なものとするためには、地域スポーツクラブ、学校、地方公共団体、スポーツ団体、企業などが組織の違いを超えて連携することにより、地域スポーツとトップスポーツの垣根をなくし、人材の好循環を生み出すことが必要である。

併せて、「新しい公共」という観点においては、地域住民が行政に依存するのではなく、主体的に学校の体育活動も含めた地域のスポーツ環境の形成を図り、スポーツを通して地域の課題(子育て等)の解決に資する取組を促進することが必要である。

さらに、小学校においては、学校の小規模化や教員の高齢化等により、体育の授業において児童に手本を見せるのが難しい場合があり、民間人の活用を含めた地域での教育支援体制の強化が必要である。

本事業は、拠点となる総合型地域スポーツクラブが中心となり、次の取組を行うスポーツ人材を活用し、地域

スポーツとトップスポーツの好循環を推進することを目的として実施されているものです。

■事業内容

(1) トップアスリート等によるジュニアアスリート支援等の実施

ジュニアアスリート等を対象とするスポーツ教室にトップアスリート及びアシスタントコーチを派遣する巡回指導の実施。

(2) 地域の課題解決に向けた取組の推進

プロジェクトリーダーの配置を通じて、地域課題(子育て等)の解決に向けたプロジェクトの企画立案と、(1)及び(3)の事業を円滑に行うための連絡調整の実施。

(3) 小学校体育活動コーディネーターの派遣

小学校の体育活動(体育授業や体育的活動)の計画を補助したり、担任等とチームティーチングで体育活動に取り組む支援の実施。

■事業期間 平成24年4月～平成25年3月

■小学校体育活動コーディネーターの派遣について

(1) 派遣先

本太小学校、木崎小学校、三室小学校、上木崎小学校、大東小学校、
仲町小学校、栄和小学校、善前小学校、河合小学校、常盤小学校

(2) 派遣日数・時間数

概ね週1～2日、8時間以内

(3) 派遣コーディネーター

一般	(中・高保健体育教員免許取得)	2名
埼玉大学教育学部大学院生	(中・高保健体育教員免許取得)	4名
埼玉大学教育学部4年	(中・高保健体育教員免許取得見込)	10名

■トップアスリート等による巡回指導の実施について

(1) 派遣先

さいたまスポーツクラブ、美園スポーツクラブ

浦和南高校、浦和商業高校、市立浦和高校、いずみ高校、越谷南高校、春日部女子高校、上尾南高校、
慶応高校

大砂土中学校、大原中学校、日進中学校

(2) 派遣トップアスリート

斉藤 清 氏(卓球) 大橋裕二 氏(陸上) 藤光謙司 氏(陸上) 石田洋平 氏(テニス)

(3) 派遣アシスタントコーチ

舟山勝明 氏(卓球) 池田金作 氏(陸上) 梶谷千恵子 氏(テニス)

■地域の課題解決に向けた取組の推進

(1) 大運動会の開催 平成24年5月20日(日) 浦和高校グラウンド

多世代交流イベント 「きた!Urawa フェスタ」～みんなの大運動会×みんなの防災～

参加者 250名(近隣住民)

(2) 子どもの体力向上・苦手種目克服

- ・逆上がり教室の開催 平成24年8月21日(火)、24日(金)、27日(月) 駒場体育館
講師 岩本利夫氏(逆上がり指導で読売教育賞を受賞)
参加者 17名(小学1年~3年)

- ・親子キャッチボール教室の開催 平成25年3月10日(日) 浦和高校グラウンド
講師 伊藤博一氏(帝京平成大学講師 真下投げ研究家)
参加者 84名(親子)

子どもの苦手種目を克服し、体育・スポーツ嫌いを少なくし、また、さいたま市・埼玉県の努力目標である逆上がりの成就率を向上させ、投力の向上をめざすための、①逆上がり教室と②親子キャッチボール教室を開催した。

(3) スポーツをする場の確保

- ・勉強会の実施 平成24年10月13日(土) 浦和コミュニティセンター
講師 司東道雄(NPO法人フォルダプロジェクトリーダー)
参加者 38名(市内総合型地域スポーツクラブ関係者)

先進的な取組をしている総合型地域スポーツクラブから講師を招き、スポーツの場確保への取組について市内総合型地域スポーツクラブ関係者と研修を深め、新たなスポーツの場を確保するための実践活動を展開した。

(4) 高齢者の介護予防活動の充実

- 平成25年1月~3月(月曜日コース全8回、水曜日コース全8回) さいたま市立本太中学校
参加者 44名

健康体操や貯筋運動による健康づくりの促進と、地域内での挨拶の奨励によるコミュニティ力の向上や介護予防の観点から、住民に関心の高い健康体操や貯筋運動等をテーマとした8回シリーズのシニア運動教室を地元中学校の空き教室を借りて2講座開設した。

2013年度も受託が決定しており、すでに一部の事業が始まっています。これを機会に、地域スポーツクラブのみならず、多様な主体と連携することで活動のステップアップにつなげていきたいと思っております。

2. きた!Urawa フェスタ2012の開催

北浦和サッカー少年団、北浦和いっしょあいプレイランド、北浦和消防団、包括支援センタースマイルハウスと実行委員会を結成し、地域の大運動会を開催しました。

防災とスポーツのコラボという新しい試みは、初めてのものであり、時間もない中で準備も十分とは言えませんが、当日は300名近い来場者を得て、楽しい時間を共有することができました。

地域の事業者の方々からも多くの協賛品をいただくこともできました。

地域スポーツクラブがコミュニティの中で発展していくためには、多分野・他分野の活動との連携はとても大切になります。

このような事業を実施することで、自分達に足りないところ、弱点も見えてきます。反対に、自分達の強み、得意とする事の再発見ともなります。

地域活動が発展していくためには、このような体験・経験の繰り返しがとても重要であり、大切に心がけていきたいことです。



3. 元気アップネットワーク会議の開催

2011年から、包括支援センタースマイルハウスさんとともに立ち上げた「元気アップネットワーク会議」が、定期的開催されるようになり、自治会連合会をはじめとした地域の団体と連携する機運が高まってきました。

このような地域との連携が進むことで、本太中学校の余裕教室利用が実現するなど、効果が現れてきました。

今後もシニア向けの各種事業をとらして自治会等との協力関係を保ち、地域にとってかけがえのない、なくては困るクラブとして認められる存在になっていきたいと思ひます。

4. 他クラブとの交流

(1) 石川県かほく市 クラブパレット視察

平成24年7月29～30日

さいたま市地域スポーツクラブ推進委員会と連携し、他クラブにもよびかけて実施。



(2) 岩手県北上市 フォルダ 司東理事長による勉強会

(文科省プロジェクト報告に記載)

(3) 広島県 廿日市市 はつかいちFC 視察

平成24年2月9日～10日

参加：10名



(4) 長野県上田市 さなだスポーツクラブ 来訪

平成25年3月20日

テニス交流大会に参加され、今夏の合宿交流について話し合い。

5. 職員の退職(川下氏、中上氏)とサッカー部門ユース・選手コースの活動方針の変更

1年間職員として(アルバイト時代を含めると3年間)勤務した川下氏が5月に退職し、これまでの浦スポでの経験を活かし、地元の中央区でクラブの設立しました。

また、平成23年10月より勤務していた中上氏が8月に退職しました。

サッカー・ユース部門を牽引する立場にいた中上氏が、退職されたことで、ユース部門の活動の見直しが必要となりました。

あわせて、長年、監督不在や練習参加状況の芳しくない選手コースのあり方についても検討することとなりました。

クラブ内に、それぞれのコース(チーム)を牽引する気持ちを持ったメンバーがない中で、大会登録・競技者育成は困難であること、さいたま市、埼玉県には、浦和スポーツクラブ以外にも数多くのU15を運営する団体がいることなどから、浦和スポーツクラブの役割や特徴を見直し、既存のU15および選手コースは活動を停止することとなりました。

一方、U18については、埼玉県内にも数少ない活動であり、高校で部活を辞めたりサッカー部がない学校にはいった子ども達の活動の場がないことから、活動を継続し、高校生にサッカーの場を提供し続けることとなりました。

(年度当初事業計画と成果)

2012年度当初事業計画	成果
<p>(1) 多目的広場の実現 2011年度に引き続き、公共や民間の遊休地等を対象として、クラブが管理運営するスポーツもできる拠点の実現にむけて活動を展開します。</p>	<p>●市長への要望書を提出したが、具体的な進展はなかった。</p>
<p>(2) 被災地のクラブの仲間への継続的支援 地域スポーツクラブの仲間を支援し続けます。 ・支援金や支援物資の調達 ・クラブ間の交流事業</p>	<p>○2012年度の支援金は累計1,247,010円(2011年からの累計で2,298,665円)になりました ●被災地クラブとの交流事業は行えませんでした</p>
<p>2. 既存活動の充実、発展を図る (1) クラブメンバーシップをはぐくむ ①会員による会員のためのクラブ ・指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブの会員として、クラブで活動していく組織としていきます。 ・家族で参加しやすいクラブとなることを目指します。 ②交流事業の実施 ・会員やその家族が、種目の壁を越えて参加し交流できる事業を実施します。</p>	<p>△他クラブの情報収集等を行いクラブのあり方について考える機会が増えてきている ●家族会員制度は未整備 △テニス交流会を開催した。</p>
<p>(2) サッカー ・広場の会員増加とプログラムの充実をはかります ・U15、U18の指導体制を充実し、安定して継続できる活動にしていきます。 ・選手は、市民リーグ1部に昇格を目指します ・生涯クラスの仲間を増やします。特に、親子でクラブに参加する会員の増加を図ります。 ・スーパーシニア広場の会員増をはかります</p>	<p>●木曜日コースの会員が増えなかった。 ●ユース指導者が退職し、方針の転換を図ることとなった ●選手コースは廃止した ○生涯コースは、自主的な運営体制を模索しながら、活動のあり方を自ら検討している ●SSは会員は増加しなかった</p>
<p>(2) テニス ・テニス会員の増加を目指します。 ・多目的広場の管理者になり優先的に使用できるテニスコートを確保します。 ・市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します。 ・駒場体育館の自主事業等参加者に活動の継続を呼びかけ、プログラムへの参加を増やします。</p>	<p>○大人の会員が微増した。 ●多目的広場プロジェクトは特に進展なし ○市民大会への参加は徐々に増えている。 ○駒場体育館自主事業から、浦スポプログラムへの移動は、大人・キッズテニス両部門で成果があった。</p>
<p>(3) フィットネス ・平均して1クラス17人(現在14.6人)を目標に会員の増加、確保を図ります。 ・のびのびスポーツ広場の会員増加をはかります。</p>	<p>○シニア筋トレ教室は、3年目になり継続性が出てきた。 ●1年生への継続が少なかった。</p>
<p>(4) その他 ・シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。 ・様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます</p>	<p>○シニア運動教室が増設した。</p>

<p>3. 地域のスポーツ振興に取り組む</p> <p>(1) キッズテニス大会 in SAITAMAの開催</p> <p>(2) 文部科学省事業に基づく取り組み 地域の学校やクラブと連携して子どもたちを育てる拠点的なクラブとなれるよう努めます</p> <p>(3) 北浦和元気アップネットワークの活動展開 ・地域包括支援センタースマイルハウスと協力し、ネットワークの充実に努めます</p> <p>(4) その他</p> <p>① 駒場体育館の指定管理を活用し、各種プログラムを提案、企画、実施していきます</p> <p>② 地域部会を開催し、地域と連携した事業展開を図ります</p> <p>③ 星空スポーツの充実に継続して開催するとともに、参加者のクラブへの理解を進めます</p>	<p>○第6回キッズテニス大会を開催した △クラブそのものの活動と事業との連携にはいたっていない</p> <p>○会議を重ね、具体的な取り組みに近付いている</p> <p>○テニス等でクラブの活動に結びついてきた</p> <p>○きた！Urawaフェスタ2012の実行委員会に加わり、地域の各種団体や自治会との連携を進めた</p> <p>○バスケットボールを日曜日に移動し、土曜日のバドミントンの環境改善を図った。</p>
---	---

【サッカー】

(サッカー／普及：広場)

- ✓ 高学年に残る人数は増えたが、木曜コースの人数が増えなかった。
- ✓ 特に年中・年長の会員増が課題

(サッカー／育成)

- ✓ U15、選手は活動停止

(サッカー／振興（生涯スポーツ）)

- ✓ マナーについて課題となる。
- ✓ 指導者の確保、運営担当の確保について、課題となる

【テニス】

(テニス／キッズ)

- ✓ キッズテニス大会の第6回を開催した。
- ✓ 低年齢層の開拓が必要である。

(テニス／一般)

- ✓ コートの安定的な確保が課題である。
- ✓ クラス内会員のレベル差が生じている。
- ✓ 教室への参加需要はあるが時間帯やコーチとのマッチングが課題である。
- ✓ シニア層の需要が見込まれる。

【フィットネス】

(スタジオプログラム)

- ✓ 目標人数に達せず、維持が困難なクラスが出た
- ✓ PRやニーズにあわせたプログラム展開が必要である
- ✓ インストラクターのクラブ運営への参加が必要である

(のびのびスポーツ広場)

- ✓ プログラムの中で鉄棒を行った。

- ✓ 高学年のクラスで時間延長の要望があった。

(太極拳)

- ✓ 特に変化はない

(バレエ)

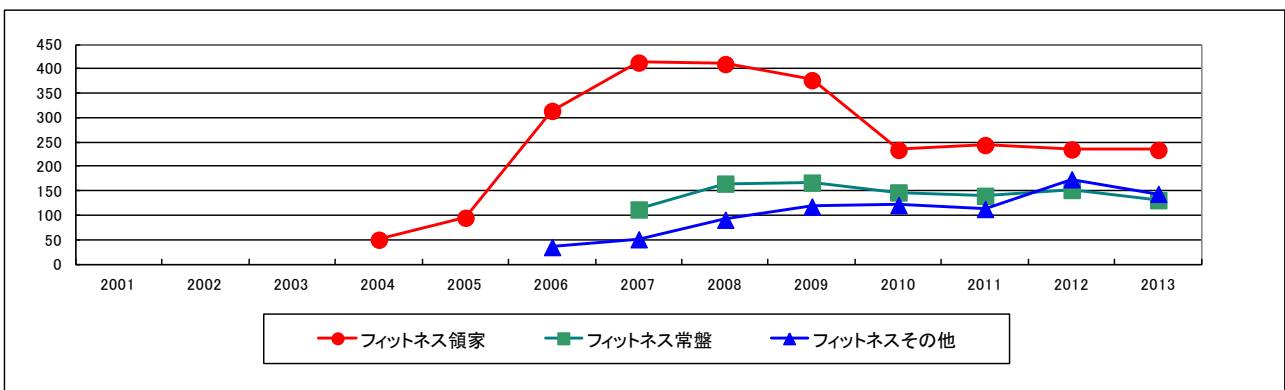
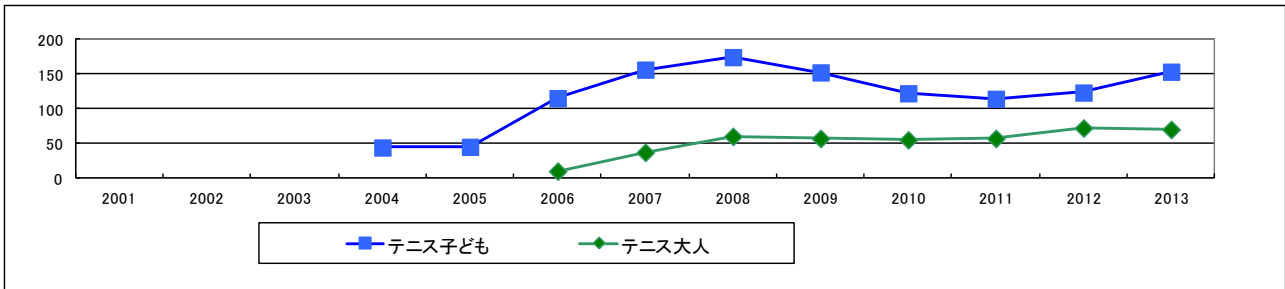
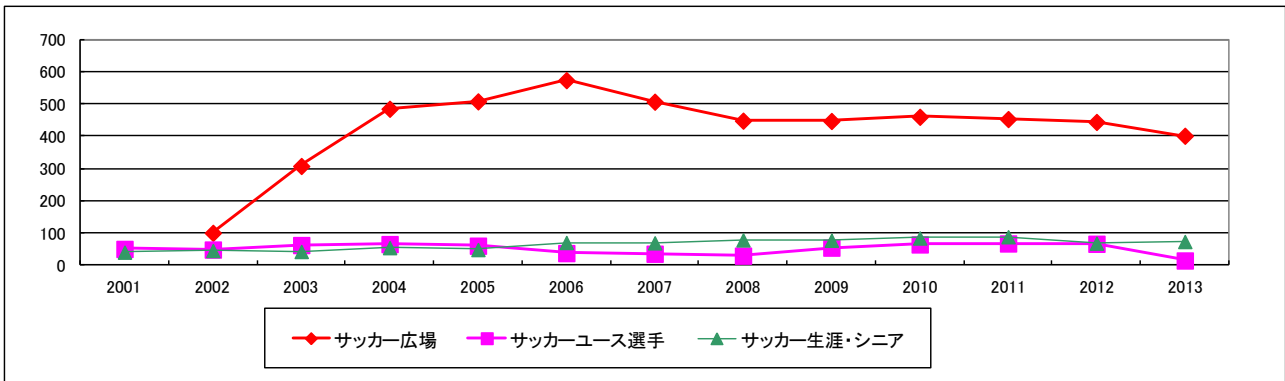
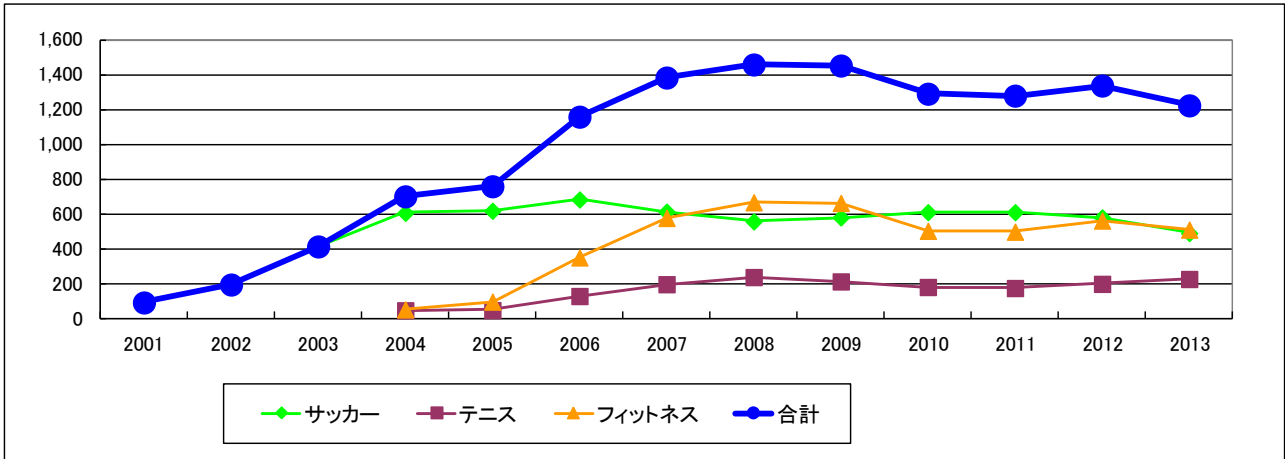
- ✓ 人数の減少がみられる
- ✓ PRが必要

【地域スポーツ振興】

- ✓ キッズテニス大会 in SAITAMAを開催した
- ✓ 文部科学省事業に取り組み、クラブの周知をはかった
- ✓ 北浦和元気アップネットワークの活動を展開し、自治会等との連携体制を強めた
- ✓ きた！Urawaフェスタを開催した

参考/2006年～2013年のクラブ会員数（各年5月末）

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
サッカー広場		100	308	486	509	575	508	449	448	461	454	445	402
サッカーユース選手	50	48	62	65	60	37	35	29	54	64	67	66	14
サッカー生涯・シニア	40	45	42	54	48	70	69	78	77	84	88	68	73
テニス子ども				45	46	116	157	175	153	123	115	124	154
テニス大人						11	38	61	58	56	58	73	71
フィットネス領家				50	95	314	413	410	377	234	244	235	234
フィットネス常盤							112	165	167	147	140	152	131
フィットネスその他						35	51	91	118	121	113	174	144
サッカー	90	193	412	605	617	682	612	556	579	609	609	579	489
テニス				45	46	127	195	236	211	179	173	197	225
フィットネス				50	95	349	576	666	662	502	497	561	509
合計	90	193	412	700	758	1,158	1,383	1,458	1,452	1,290	1,279	1,337	1,223

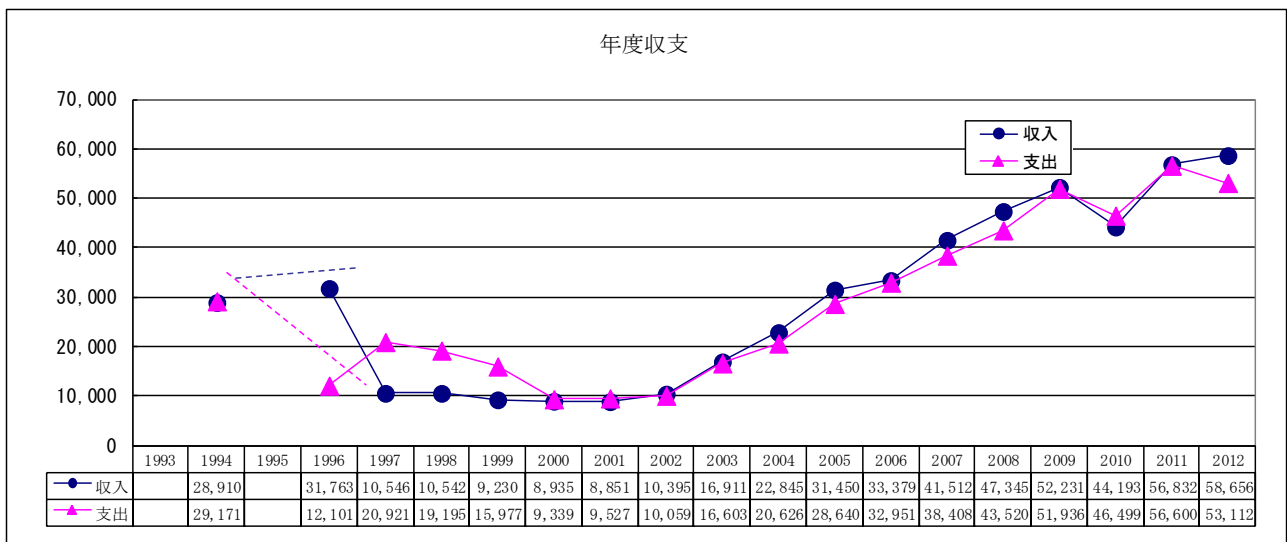


2. 2012年度決算報告（2012年4月1日～2013年3月31日）：採決事項②

- 収入総額は約5,870万円となりました。委託事業費を除く、会費等の収入は4,469万円となり、2011年度よりも90万円ほど増加していますが、予算よりは60万ほど下回りました。
- 会費収入は、2011年度3,674万に対し、2012年度は3,672万とほぼ同程度でした。
- 経常支出は約5,317万円でした。委託分を除くと、4,024万となり予算よりも350万円ほど少なくなりました。支出減の主な原因は、サッカーU15の活動休止にともなう指導謝金等の減少分です。
- 単年度の収支で551万円の黒字になりました。2012年度から文部科学省委託事業の約10%が、管理費として認められたことその他、上記の支出減があり、当初予算の収支150万よりも上回る結果となりました。
- 助成金（toto）の交付期間が、2012年度で終了しました。2012年度は、totoの助成金が約680万円ありましたので、これを差し引くと、まだ収支はマイナスとなり、新年度にむけては支出構造をさらに見直していくことに加え、会員数を増やして会費収入を増やすことが必要です。

（年度収支と過年度との比較）

年度	2012年度			過年度				
	予算	決算（右は委託費込）		2011	2010	2009	2008	2007
収入	45,285,700	44,672,732	58,703,513	43,580,445	44,193,061	52,230,623	47,344,612	41,511,461
支出	43,731,870	40,241,506	53,172,322	43,348,348	46,498,600	51,936,213	43,520,329	38,408,490
収支	1,553,830	4,431,226	5,531,191	232,097	-2,305,539	294,410	3,824,283	3,102,971
繰越	6,622,025	—	10,889,730	5,378,539	5,136,442	7,464,071	7,169,661	3,345,378



■ 年度収支の経年変化（単位：千円） ■

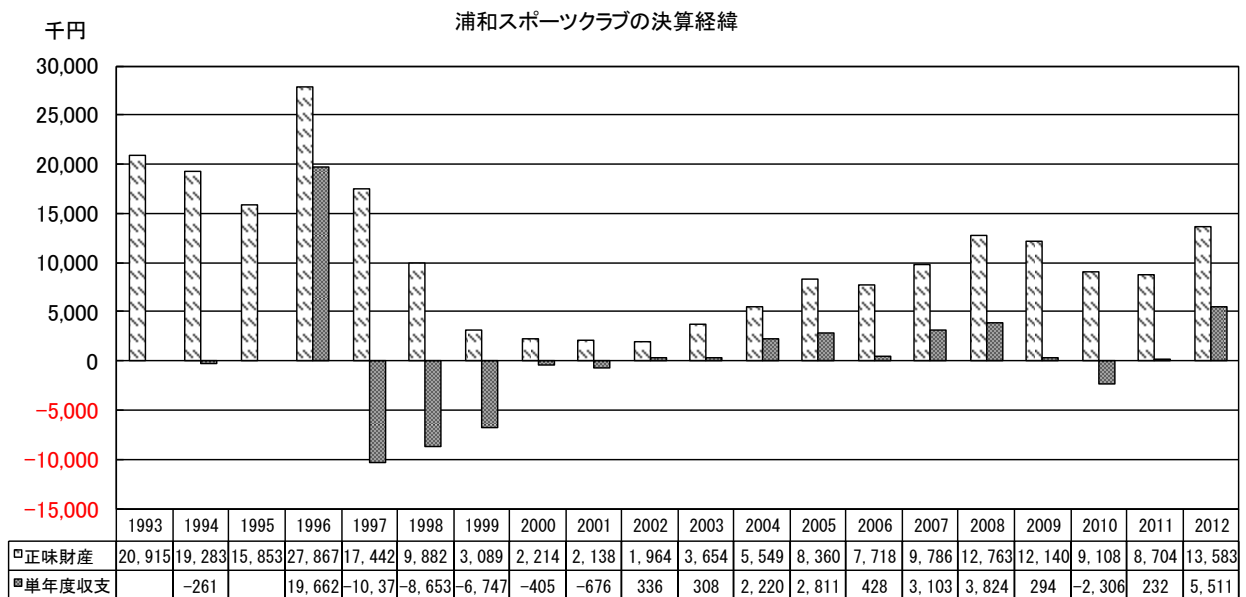
特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

NPO法人浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)

2013年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	79,100
現金	69,789	未払金	2,136,699
普通預金	19,805,664	預り金	309,629
埼玉りそな	(3,480,240)	健康保険	(10,934)
郵貯ぱるる	(3,758,528)	厚生年金	(15,688)
郵貯振替口座	(12,566,150)	雇用保険	(39,499)
城北信用金庫 1	(640)	源泉徴収	(147,908)
城北信用金庫 2	(106)	クラブ義援金	(95,600)
現金・預金 計	19,875,453	仮受金	10,328,975
(売上債権)		流動負債 計	12,854,403
未収会費	303,500	負債の部合計	12,854,403
未収金	3,163,000	正味財産の部	
売上債権 計	3,466,500	【正味財産】	
(その他流動資産)		正味財産	13,570,691
前払費用	306,180	(うち当期正味財産増加額)	4,866,488
その他流動資産 計	306,180	正味財産 計	13,570,691
流動資産合計	23,648,133	正味財産の部合計	13,570,691
【固定資産】			
(有形固定資産)			
構築物	1,852,158		
車両運搬具	28,863		
什器備品	73,500		
有形固定資産 計	1,954,521		
(無形固定資産)			
電話加入権	76,440		
無形固定資産 計	76,440		
(投資その他の資産)			
敷金	746,000		
投資その他の資産 計	746,000		
固定資産合計	2,776,961		
資産の部合計	26,425,094	負債・正味財産の部合計	26,425,094



年度

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

NPO法人浦和スポーツクラブ		(単位：円)
全事業所	2013年 3月31日 現在	
《資産の部》		
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金	69,789	
普通預金	19,805,664	
埼玉りそな	(3,480,240)	
郵貯ぱるる	(3,758,528)	
郵貯振替口座	(12,566,150)	
城北信用金庫 1	(640)	
城北信用金庫 2	(106)	
現金・預金 計	19,875,453	
(売上債権)		
未収会費	303,500	
未収金	3,163,000	
売上債権 計	3,466,500	
(その他流動資産)		
前払費用	306,180	
その他流動資産 計	306,180	
流動資産合計		23,648,133
【固定資産】		
(有形固定資産)		
構築物	1,852,158	
車両運搬具	28,863	
什器備品	73,500	
有形固定資産 計	1,954,521	
(無形固定資産)		
電話加入権	76,440	
無形固定資産 計	76,440	
(投資その他の資産)		
敷金	746,000	
投資その他の資産 計	746,000	
固定資産合計		2,776,961
資産の部 合計		26,425,094
《負債の部》		
【流動負債】		
前受金	79,100	
未払金	2,136,699	
預り金	309,629	
健康保険	(10,934)	
厚生年金	(15,688)	
雇用保険	(39,499)	
源泉徴収	(147,908)	
クラブ義援金	(95,600)	
仮受金	10,328,975	
流動負債 計		12,854,403
負債の部 合計		12,854,403
正味財産		13,570,691

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書


NPO法人浦和スポーツクラブ		(単位：円)
全事業所	自 2012年 4月 1日	至 2013年 3月31日
《経常収支の部》		
[経常収支の部]		
【経常収入】		
事業収入	36,719,070	
助成金収入	6,749,000	
委託費収入	14,010,781	
入会金収入	2,000	
正会員会費収入	100,000	
賛助会員会費収入	110,000	
寄付金収入	81,600	
その他事業収入	930,000	
受取利息収入	1,062	
経常収入 計		58,703,513
【事業費】		
諸謝金	36,391,570	
用具費	1,230,723	
会場費	3,448,059	
登録費	190,700	
保険料(事)	1,101,215	
外注費	216,305	
雑費(事)	246,535	
当期事業費 計	42,825,107	
合 計	42,825,107	
事業費 計		42,825,107
【管理費】		
給料 手当	1,705,000	
事務人件費(パート)	1,846,525	
法定福利費	900,006	
福利厚生費	13,234	
通信・運搬費	1,315,142	
水道光熱費	390,151	
会議費	23,176	
事務用消耗品費	240,717	
備品消耗品費	121,304	
印刷経費	275,131	
賃借料	1,978,774	
車両関連費	237,242	
保険料(管)	221,600	
諸会費	13,000	
慶弔費	5,775	
リース料	492,274	
支払手数料	517,831	
雑費(管)	50,333	
管理費 計		10,347,215
経常収支差額		5,531,191
[その他資金収支の部]		
【その他資金収入】		
その他資金収入 計		0
【その他資金支出】		
徴収不能会費	20,000	
その他資金支出 計		20,000
当期収支差額		5,511,191
前期繰越収支差額		5,378,539
次期繰越収支差額		10,889,730
《正味財産増減の部》		
【正味財産増加の部】		
当期収支差額	5,511,191	
正味財産増加の部 計		5,511,191
【正味財産減少の部】		
構築物減価償却額	405,838	
車両運搬具減価償却額	50,264	
什器備品減価償却額	188,601	
正味財産減少の部 計		644,703
当期正味財産増加額		4,866,488
前期繰越正味財産額		8,704,203

監査報告書

平成 25 年 5 月 23 日

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ
理事長 戸 莉 晴 彦 殿

監 事 三 戸 一 嘉 

監 事 柴 崎 栄 一 

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの 2012 年度の理事の業務執行状況、及び事業報告書、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、並びに財産目録（以下、事業報告書等）について、監査を実施した。

監査の結果の意見は次のとおりである。

- (1) 理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 上記の事業報告書等が、特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成 25 年 3 月 31 日現在の財産状況、及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

以 上

3. 2013年度事業計画（案）：採決事項③

(1) 既存活動の充実・発展を図る

①全体

1) クラブメンバーシップを育む

- 指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブの会員として、クラブで活動していく組織としていきます。
- また、家族で参加しやすいクラブとなることを目指します。
- 会員やその家族が、種目の壁を越えて参加し交流できる事業を実施します。

2) 広報・PRに力を入れます

クラブの基盤強化のため、会員の確保、クラブの認知度向上を目指して広報・PRに皆で取り組みます

②サッカー

- 広場の会員増加とプログラムの充実をはかります
- U18の指導体制を確立します
- 生涯コースの会員増加を図ります。指導者の確保を図ります
- スーパーシニア広場の会員増をはかります

③テニス

- テニス会員の増加を目指します。
- 自前のテニスコート確保に努力します。
- 市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します。
- 駒場体育館自主事業を積極的に進めます。

④フィットネス

- 平均して1クラス17人(現在14.6人) を目標に会員の増加、確保を図ります。
- スタジオのさらなる活用を進めます
- のびのびスポーツ広場の会員増加をはかります。

⑤その他

- シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。
- 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます。

(2) 地域のスポーツ振興に取り組む

①「第7回 キッズテニス大会 inSAITAMA」の開催

第7回キッズテニス大会 inSAITAMA の実行委員会の主管を努めます。

実施に際しては、大人のテニス会員や、キッズテニス会員の保護者の皆様にもご支援いただきたいと考えています。

期日：2013年11月14日(木) 県民の日

場所：さいたま市立浦和駒場体育館

主催：キッズテニス大会 inSAITAMA実行委員会

構成団体(予定) NPO法人浦和スポーツクラブ、鴻巣プレス

②文部科学省事業に基づく取り組み

地域の学校やクラブと連携して子どもたちを育てる拠点的なクラブとなれるよう努めます

③北浦和元気アップネットワークの活動展開

- 社会福祉協議会や自治会との連携を特に進めます

④その他

- 1) 駒場体育館の指定管理を活用し、各種プログラムを提案、企画、実施していきます。2014年からの第2期受託にむけて申請する
- 2) きた！Urawa フェスタ 2013 を成功させます
- 3) 星空スポーツの充実を継続して開催するとともに、参加者のクラブへの理解を進めます
- 4) クッキープロジェクトに参加し、地域の作業所を支援します
- 5) 被災地支援を継続して行います

○スポーツプログラム (2013.4～)

部門	コース	概要
サッカー	広場	幼稚園生～小学6年生を対象に、サッカーで遊ぼうを合い言葉に、週1回1時間、ミニゲームを中心に活動。約500名が参加。
	スクール	小学校5・6年生を対象として、個人技術の習得を目的としたスクール。水曜日午後7時～浦高。
	ユース	高校生（U-18）年代の活動場所の提供。当面、水・土・日で活動
	生涯	生涯スポーツとして楽しみながらサッカーを続けることを目的に活動。選手を目指さずに続けたい中学生や高校生も参加可。
	スーパーシニア広場	60歳以上を対象。 木曜日サッカー広場の前の時間（13時～15時頃）に実施。
テニス	キッズテニス	幼稚園年中～小学校中学年までを対象に、体育館で行うスポンジボールのテニス。4箇所で開催中。約120名が参加。
	インドアテニス	小学校高学年を対象として、キッズよりやや固めのボールで実施。本太、中尾、三室小の体育館でそれぞれ開催。約40名が参加。
	ジュニアテニス	小学校3年生以上を対象とした、屋外での本格的なテニス。平日夜のナイター練習。主に天沼テニスコート。
	(一般)	ジュニアテニスの送迎でこられる保護者の方々を対象に、一般向けのクラスを開催。
	初級	初級者を対象に、初歩から丁寧に教える。市内各地のコート。
	中級	中級者を対象に、市内各地のコートで開催。
フィットネス	スタジオプログラム	別表
	のびのびスポーツ広場	様々なスポーツをとおして、総合的に運動能力を高める。 ■年中・年長クラス ■ 小学校低学年クラス ■ 小学校高学年クラス
	太極拳	主に高齢者を対象としたプログラム。楊明時太極拳。
	バレエ	和泉伽甫留バレエ教室との共同開催。幼稚園～小学生。
地域貢献	星空スポーツ広場	浦和高校グラウンド及び体育館をお借りして、広く参加できる場として運営 サッカー、バドミントン、卓球、バスケットボール。
	チャリティ	開発途上国へのスポーツ用品（中古）の提供などを実施。これまで、ケニア、アフガニスタン等に寄贈。中古テニスボールの回収と学校への寄贈
	学び・遊び	工作教室や折り紙教室など、様々なプログラムを、地域のボランティアの皆さんとともに提供していきます。
	ふらっと広場	常盤スタジオの午後の時間を地域に開放（主に子ども達）
被災地支援	子どものスポーツ支援プロジェクト スポーツ物資の支援等	
クラブライフ魅力アップ事業	クラブ会員が楽しみながら交流できる各種イベントや、各プログラムに+αを提供。	

2013年度スポーツプログラムと会費（予定）（定期プログラムのみ）

プログラム	対象	曜日	時間	月会費	活動場所	
サッカー	月曜広場	年中・年長	15時～16時	2,000円	駒場サテライト 初回ホーム入リシャツ代 3,000円	
		小1・小2	16時～17時			
		小3・小4	17時～18時			
		小5・小6・女子	18時～19時			
	木曜広場	年中・年長	15時～16時	2,000円	年中・年長は 7・8月夏季休み	
	小1・小2	16時～17時				
	スクール	小5・小6	水	19時～20時半	2,500円	浦和高校
ユース	U-15	水土日の週3日	各2時間	5,000円	浦和高校他 市内グラウンド	
生涯	U-18					
スーパーシニア	全ての年代	土日祝				
	60歳以上	木	13時～14時半	2,000円	駒場サテライト	
テニス	駒場キッズ	小1～3	17時～18時	2,500円	駒場体育館	
		小3・小4	18時～19時			
	駒場キッズ	年中・年長	15時～16時	2,500円	駒場体育館	
		小1・小2	16時～17時			
	北小キッズ	小1～小3	火	18時～19時	2,500円	北浦和小体育館
	〃 イントア	小4以上		19時～20時		
	三室キッズ	小1～小3	火	17時～18時	2,500円	三室小体育館
	〃 イントア	小4以上		18時～19時		
	中尾キッズ	小1～小3	火	17時～18時	2,500円	中尾小体育館
	〃 イントア	小4以上		18時～19時半		
	本小イントア	小3・小4	木	17時半～19時	3,500円	本太小体育館
		小5・小6		19時～20時半		
	硬式キッズ	小3以上	水	17時半～19時	4,000円	天沼テニス公園
天沼ナイト	硬式キッズ保護者	親子6,000円				
初心者	成人男女	水・木・金	9時半～11時	3,000円	市営コート他	
		火	11時15分～12時45分			
中級	成人男女	月	9時～10時半	4,000円	市営コート他	
		火	9時半～11時			
		金	13時半～15時			
スタジオ	各種 ヨガ	高校生以上の女性	時間割は、裏面をご確認ください。		1クラス2,000円 2クラス以上で 500円引き	領家スタジオ 常盤スタジオ
	ピラティス					
	各種エクササイズ					
	シニアYOGA	原則60歳以上女性	水	13時30分～14時20分	領家スタジオ	
	シニア筋トレ	60歳以上男女	木	9時～10時	常盤スタジオ	
親子エクササイズ	親子（4歳以下）	火	10時20分～11時10分	2,500円	常盤スタジオ	
のびのびスポーツ広場	年中・年長	水	15時30分～16時30分	2,000円	駒場体育館	
	小1～小3	金	15時～16時			
	小3～小6	金	16時～17時			
太極拳	全ての年代	土	15時～16時	1,500円	南菰公民館他	
シニア運動教室	60歳以上男女	お問い合わせください。		3,000円	本太中学校他	
ルディック・ウォーキング	成人男女	木	14時～15時半	2,500円		
バレエ	幼児	金	15時半～16時20分	4,000円	領家スタジオ 発表会の参加必須	
	ジュニアⅠ	火・金	16時半～17時40分	4,500円		
	ジュニアⅡ	火	17時45分～19時	5,000円		

2013年のスタジオプログラム

∞ 領家スタジオ プログラム ∞					
	月	火	水	木	金
9:10 ∩ 10:00	アロマYOGA	ストレッチ&バレエ	パワーYOGA	シニア筋トレ 9:00~	プラーナ(気) ヨガ
10:20 ∩ 11:10	アロマYOGA	ステイラYOGA	フィットネス フラ	コーディネーション・ ピラティス	心と体に効く ヨガ (託児あり)
11:30 ∩ 12:20			アロマYOGA		ピラティス (託児あり)
13:30 ∩ 14:20	シニアの為のボ ディコンディショ ニング		シニアYOGA	ルディック ウォーキング14:00~	

∞ 常盤スタジオ プログラム ∞					
	月	火	水	木	金
9:10 ∩ 10:00	ピラティス	ナチュラル・ボ ディ・ヨガ	休館日	ヨガ フィット	ピラティス
10:20 ∩ 11:10	フィットネス ヨガ	親子 エクササイズ		アロマYOGA	ゆっくりヨガ
11:30 ∩ 12:20					
13:30 ∩ 16:30	一般開放	一般開放		一般開放	一般開放

4. 2013年度予算（案）（2013年4月1日～2014年3月31日）：採決事項④

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥	125,000	
〃 入会金収入	¥	-	
賛助会員（個人）	¥	-	
賛助会費（法人）	¥	100,000	¥ 225,000
2 事業収入			
サッカー事業	¥	13,175,500	
フィットネス事業	¥	13,966,800	
テニス事業	¥	7,518,000	
地域事業	¥	306,000	¥ 34,966,300
3 補助金等収入	¥	13,810,000	¥ 13,810,000
4 雑収入	¥	26,000	¥ 26,000
当期収入合計（A）			¥ 49,027,300
収入合計（B）			¥ 49,027,300
II 支出の部			
1 事業費			
サッカー事業	¥	8,080,890	
フィットネス事業	¥	11,421,265	
テニス事業	¥	5,140,710	
ふらっと広場運営事業	¥	1,596,800	
地域事業	¥	978,030	
文科省事業	¥	8,300,000	¥ 35,517,695
2 管理費			
人件費	¥	6,381,820	
通信・運搬費	¥	1,274,000	
印刷・事務消耗品	¥	616,000	
施設・車両費	¥	1,912,300	
その他	¥	2,080,000	¥ 12,264,120
3 予備費			
当期支出合計（C）			¥ 47,781,815
当期収支差額（A）－（C）			¥ 1,245,485
次期繰越収支差額（B）－（C）			¥ 1,245,485

*toto 助成金 CM設置 2,480,000 円

*文科省事業委託（未確定） 11,000,000 円（PL 分 155 万、その他事業費、管理費 10%）

会費収入は、約 3,500 万円を見込み、前年度予算 3,700 万（実績 3,670 万）よりも、やや減額した。サッカー広場の人数が少ないことや、サッカー育成部門の縮小の影響である

文科省事業費のうち管理費が約 1 割認められているが、これがなければ収支はほぼゼロである。来年度は文科省事業が終了するため、収支の改善にむけた会員確保は、今年度も課題となる。

科 目	金 額		
	2013予算	2012予算	比較
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 125,000	¥ 125,000	¥ -
" 入会金収入	¥ -	¥ -	¥ -
賛助会員（個人）	¥ -	¥ -	¥ -
賛助会費（法人）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -
2 事業収入			
サッカー事業	¥ 13,175,500	¥ 17,096,000	¥ -3,920,500
フィットネス事業	¥ 13,966,800	¥ 14,035,200	¥ -68,400
テニス事業	¥ 7,518,000	¥ 5,963,500	¥ 1,554,500
地域支援事業	¥ 306,000	¥ 180,000	¥ 126,000
3 補助金収入等	¥ 13,810,000	¥ 7,736,000	¥ 6,074,000
4 雑収入等	¥ 26,000	¥ 50,000	¥ -24,000
当期収入合計（A）	¥ 49,027,300	¥ 45,285,700	¥ 3,741,600
II 支出の部			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 8,080,890	¥ 13,216,100	¥ -5,135,210
フィットネス事業	¥ 11,421,265	¥ 11,212,200	¥ 209,065
テニス事業	¥ 5,140,710	¥ 4,936,970	¥ 203,740
そのほか事業	¥ 10,874,830	¥ 2,990,600	¥ 7,884,230
2 管理費			
事務人件費	¥ 6,381,820	¥ 4,599,000	¥ 1,782,820
通信・運搬費	¥ 1,274,000	¥ 1,718,000	¥ -444,000
印刷・事務消耗品	¥ 616,000	¥ 680,000	¥ -64,000
施設・車両費	¥ 1,912,300	¥ 2,827,000	¥ -914,700
その他	¥ 2,080,000	¥ 1,552,000	¥ 528,000
当期支出合計（C）	¥ 47,781,815	¥ 43,731,870	¥ 4,049,945
経常収支差額（A）－（C）	¥ 1,245,485	¥ 1,553,830	¥ -308,345

5. 会費制度の一部変更について（採決事項）

【提案】

サッカー生涯コース会員について、子ども1名までは、サッカー広場、キッズテニス、のびのび体操広場の会費を無料とする。

（サッカー広場・キッズテニス・のびのび体操広場の会員の保護者が、サッカー生涯コースに参加する場合には、親子で5,000円/月とする）

【提案理由】

- ・サッカー広場やキッズテニスに参加している子どもの保護者、特に父親の参加を促す
- ・サッカー生涯会員の増加は、事業支出への影響は小さい
- ・サッカー生涯会員の獲得は、将来のクラブ発展のための重要テーマである
- ・子どもの卒業後も、会員として継続することが期待できる

6. 理事の改選

役員体制案

3減5増 理事14名体制

	2011～2012		2013～2014	
理事				
1	戸苺 晴彦	⇒	再任	<input type="checkbox"/>
2	塩野 潔	⇒	再任	<input type="checkbox"/>
3	鈴木 公文	⇒	再任	<input type="checkbox"/>
4	萩原 紀男	⇒	再任	(事務局長補佐) <input type="radio"/>
5	梶谷千恵子	⇒	再任	<input type="checkbox"/>
6	三浦 郁哉	⇒	退任	
7	原田 明	⇒	再任	<input type="checkbox"/>
8	清水 恵二	⇒	再任	<input type="checkbox"/>
9	伊澤 浩助	⇒	退任	
10	生田目 基	⇒	退任	
11	小野崎研郎	⇒	再任	<input type="checkbox"/>
12	伊藤 謙	⇒	再任	<input type="checkbox"/>
			新任：金木 貴子 (フィットネス/インストラクター)	<input type="checkbox"/>
			新任：小川 貴 (常任事務局長)	<input type="radio"/>
			新任：中山 藍 (常任事務局員 クラブマネジャー)	<input type="radio"/>
			新任：遠山 茂 (サッカー/SS広場指導)	<input type="checkbox"/>
			新任：石井 亮二 (サッカー/生涯コース会員)	<input type="checkbox"/>
監事				
1	三戸 一嘉	⇒	再任	
2	柴崎 栄一	⇒	再任	

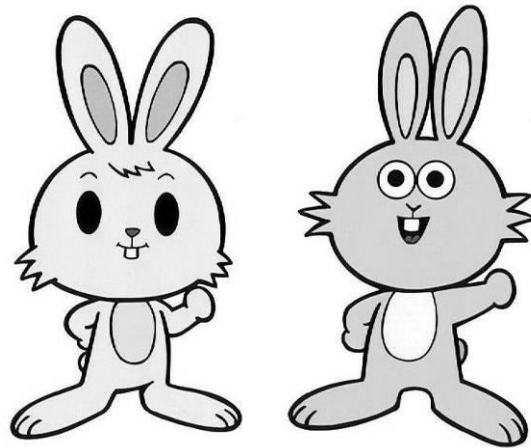
○有償 (指導謝金以外) □無償 (指導謝金以外)

*NPO 法上、「役員のうち報酬を受ける者の数は役員総数の 1/3 以下でなければならない」

*第13条 この法人に以下の役員を置く。

(1) 理事 8人以上15人以内

(2) 監事 1人または2人



2013. 6. 2

NPO法人 浦和スポーツクラブ
(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家4-5-6
電話 048-887-7140
FAX 048-679-1063
e-mail info@urawasc.org
HP-URL <http://www.urawasc.org>